

**令和4年度 新宿区耐震診断ステップアップ研修
質疑応答**

■開催概要

日時：令和5年1月27日（金） 午後3時～4時30分

会場：新宿区役所 本庁舎5階「大会議室」

■質疑応答

	質問	回答
1	P35②、新設する基礎の鉄筋天端はフックがなくても良いですか。	<ul style="list-style-type: none">・フックはスターラップの役割もあるので、フックは必要です。・極力、180° フックとしてください。
2	P11②、「ひび割れのある無筋コンクリート造の基礎」が基礎仕様Ⅲとなるひび割れの程度は何か所または何%のでしょうか。	<ul style="list-style-type: none">・経年の乾燥収縮または過去の大地震等、ひび割れの要因が何かにより、異なる。・厳密には鉄筋やコンクリート強度によるので、正確にはコア抜き調査をして、ひび割れの状況を考慮する必要があります。・最終的には設計者の判断となります。
3	I型基礎でも、構造耐力を持たせることができますか。	<ul style="list-style-type: none">・I型基礎はL型基礎とすることが望ましいです。・周辺のボーリングデータから地盤沈下の心配がなく、建築当時の建築基準法でI型基礎が認められているか確認したうえであれば、I型基礎でも、50kN/m²の耐力があれば、可能と考えます。
4	耐震改修工事の際、すべてスケルトンにする場合でも、新宿区で精密診断法を用いることはできますか。	<ul style="list-style-type: none">・すべての部材、接合部を確認することができるのであれば、精密診断法を用いることも可能です。・新宿区においては一般診断法を勧めています。
5	P35②左の写真の場合には、基礎補強をしなければならぬのですか。	<ul style="list-style-type: none">・束基礎があるので、基礎補強しない場合は、基礎仕様Ⅲ礎となります。・基礎補強をする場合は、基礎仕様Ⅰとなります。
6	アンカーボルトについて、M12またはM16の指定がありますか。	<ul style="list-style-type: none">・通常はM12を用います。・出隅部で、引抜応力が大きい場合は、M16を用いることをお勧めします。・主筋と干渉しないよう、工夫が必要です。
7	参考となる標準図がありますか。	<ul style="list-style-type: none">・東京都建築士事務所協会等が発行している標準図が参考となります。